

# 第6回腎移植内科研究会 学術集会 2021 —プレリミナリープログラム—

この度、腎移植内科研究会第6回学術集会を主催させていただくことになりました。

手術手技の確立、免疫抑制療法、移植腎病理、感染症対策など、多方面における進歩により腎移植の成績は飛躍的に向上し、わが国の腎移植数は着実に増加しています。術前評価や移植後の管理においては、生活習慣病、心血管病、悪性腫瘍、感染症などに関する広い知識と経験が必要で、内科医の積極的な参加が求められています。外科医は手術の一点に集中し、内科医は面で腎移植を支える関係を理想と考えます。最初はみな初心者ですが、適切な指導を受け、自ら学んで経験を積み、腎移植への関与が内科医としての幅を広げてくれることに気づきます。

本研究会は腎移植の臨床ができる若手内科医の育成を目的として2015年に発足しました。回を重ねるごとに参加者の熱意が伝わる会となり、志を同じくする全国の内科医との交流の場にもなっています。全国展開を視野に入れ、第6回は初めて九州の地で開催させていただきます。是非とも多くの方々のご参加をお待ちしております。

## 第6回腎移植内科研究会 学術集会 2021

会 長 升谷耕介（福岡大学医学部腎臓・膠原病内科学）

副会長 豊田麻理子（熊本赤十字病院腎臓内科）

**日 時** 2021年**9月12日**（日） 8：00 ～ 受付開始  
9：00 ～ 15：25

**参加費** **5,000円**（年会費2,000円は別途）

\*：日本臨床腎移植学会腎移植認定医制度更新のための1単位が取得可能

**会 場** **福岡大学医学部3階 A会議室**

〒814-0180 福岡県福岡市城南区七隈7-45-1



福岡大学医学部研究棟本館までのアクセス

「福岡空港」、「博多駅」からの場合、  
空港線「天神駅」から七隈線「天神南駅」に  
乗り換えとなります。

地下鉄利用の場合

福岡市地下鉄七隈線「福大前駅」下車、  
2番出口より徒歩1分

・所要時間：「天神南駅」から約16分  
「橋本駅」から約8分

## 2021年9月12日 プログラム概要

8:00～9:00 幹事会 (医学部本館1階B会議室)

9:00

開会の挨拶 升谷 耕介 福岡大学腎臓・膠原病内科学

9:05～10:05

座長 辻田 誠 増子記念病院腎移植科

**よくわかるシリーズ1** (発表25分討論5分) 共催: ノバルティスファーマ

1. 腎移植の適応と術前検査

西平 守邦 友愛医療センター腎臓内科

2. 移植手術手技

山永 成美 熊本赤十字病院外科

10:05～11:05

座長 祖父江 理 香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科学

**よくわかるシリーズ2** (発表25分討論5分) 共催: ベリタス

1. 組織適合性検査

橋口 裕樹 福岡赤十字病院移植センター

2. 移植腎病理

辻 隆裕 市立札幌病院病理診断科

11:05～11:15 休憩

11:15～12:15

座長 長浜 正彦 聖路加国際病院腎臓内科

**一般演題1** (公募5題、発表7分討論5分)

1-1. 扁桃腺摘出後に生体腎移植を実施しIgA腎症の早期再発・進展を呈した  
ダウン症の一例

東京慈恵会医科大学腎臓・高血圧内科 大木 悠太郎

1-2. 急激な腹水貯留で発症したEBV非関連late onset PTLDの一例

聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科 村田 真理絵

1-3. 抗ドナー特異的抗体強陽性症例に対し二次生体腎移植を施行した一例

東京大学腎臓・内分泌内科 大木 里花子

1-4. 生体腎移植後のTMAに対してeculizumabが奏功した一例

東京女子医科大学泌尿器科 別府 寛子

1-5. 糖尿病レシピエントにおけるミコフェノール酸薬物体内動態の移植腎予後への影響

香川大学腎臓内科 中村 英祐

12:15-13:15 座長：豊田 麻理子 熊本赤十字病院腎臓内科

ランチョンセミナー 共催：中外製薬

村島 温子 国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

13:15-13:25 休憩

13:25-13:30 事務連絡 東邦大学 小口 英世

13:30-14:30 座長：升谷 耕介 福岡大学腎臓・膠原病内科学

特別講演

移植患者の感染症について

大澤 良介 亀田総合病院感染症科

(日本臨床腎移植学会認定医更新に必要な 1 単位が取得可能)

14:30-15:18 座長 谷澤 雅彦 聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科

一般演題 2 (公募 4 題、発表 7 分討論 5 分)

2-1. 生体腎移植後 5 年目レシピエントに嘔気嘔吐で発症した単純ヘルペス脳炎の一例

京都大学腎臓内科 坂井 薫

2-2. コロナ禍における名古屋第二赤十字病院の取り組み ～実際の症例とともに～

名古屋第二赤十字病院移植内科 二村 健太

2-3. 生物学的製剤使用中の末期腎不全患者における生体腎移植の経験

熊本赤十字病院総合内科 落合 晋太郎

2-4. 生体腎移植後長期経過中にアデノウイルス (ADV) 感染症をきたした 1 例

九州大学腎・高血圧・脳血管内科 園田 有里

15:18-15:25

閉会の挨拶 次期会長 祖父江 理 香川大学循環器・腎臓・脳卒中内科学

腎移植内科研究会 事務局 小口 英世、村松 真樹  
東邦大学医学部腎臓学講座内  
03-3762-4151 FAX 03-5471-3056  
URL : <http://rtpa.jp/index.html>